

龍谷大学 社会共生実習ニュースレター

Infinity Vol.02

～大学と地域の協働力は無限大∞～

2019.12.9 発行

発行元
龍谷大学 社会学部
社会共生実習支援室

〒520-2194
滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5
龍谷大学瀬田キャンパス内
社会共生実習支援室

TEL:077-544-7230
FAX:077-543-7615

E-mail:co-ex@ad.ryukoku.ac.jp



「お寺で地域づくりプロジェクト」の活動風景

大学生のアイデア満載 伏見の新たな特産品づくり



▲ 社会共生実習支援室にてミーティング中

「伏見の食材を活かした特産品づくりと地域連携」（担当教員：坂本清彦准教授）では、京都市伏見区ゆかりの食材を用いた特産品の開発に取り組んでいます。

これまでに6品ほどアイデアの試作と実食をおこないました。味の良さはもちろん、商品・メニュー化にあたってクリアすべき課題もあり、活動はついに佳境を迎えています。

12月28日(土)のお披露目会にて、実習受入先の方々や地域の皆さんに向けて特産品アイデアが発表されます。食とおした大学生と地域とのコラボレーションを見に、ぜひお越しください。（詳細は裏面記載のSNSで告知予定！）



▲ 試作の様子



▲ 特産品アイデアの一部

防火・防災訓練で活躍



▲ 避難誘導をおこなうThe First Aidの受講生

「The First Aid」（担当教員：栗田修司教授）では、学生自らが地域防災に関するユニークなプランを社会に提供することを目指し、救命・防災の知識とスキルの習得に努めています。11月27日(水)の龍谷大学全体の防火・防災訓練には、The First Aidが企画段階から参画し、避難誘導をおこなったり、映像を用いて防災意識向上のための啓発活動をおこなうなどして、大いに活躍しました。



▲ 訓練の会議に出席した栗田教授と受講生



▲ 地震関連映像を用いた啓発活動の様子

Interview

No.01



なかむら なつみ
(左) **中村 菜摘さん**
社会学科 4回生
2017・2018年度 受講生

おくむら はるか
(右) **奥村 遥さん**
コミュニティマネジメント学科 3回生
2018年度 受講生

社会共生実習の受講生に当時の思い出や現在のことを語っていただくインタビューコーナー。第1回は、「『子どもにやさしいまち』を作ろう」(担当教員: 田村公江教授) (以下、田村PJ)の修了生であり、実習先『かんちゃんの小さな家』^{※1}(以下、『かんちゃん』)で現在も学生スタッフとして活躍する中村菜摘さん、奥村遥さんにお話を伺いました。

※1 『かんちゃんの小さな家』…マイノリティの立場や様々な困難に直面している子ども・若者たちを、子ども・若者の側(尊厳)から支援することをめざして立ち上げた民間有志の活動(ウェブサイトより)。

―田村PJを履修したきっかけを教えてください。

(中村さん) 教育や子どもに関心があり、関連する授業をいくつも履修していました。現場に向かうチャンスを探していたら、ちょうど「社会共生実習」の開始年度で。最初は「行ってみようかな」くらいの気持ちで飛び込みました。

(奥村さん) 私も子どもが好きなので、1回生から『ボランティア・NPO活動センター』^{※2}で子ども食堂の企画や講演会の開催などに携わりつつ、田村先生のご紹介で『かんちゃん』でもボランティアをしていました。その後『かんちゃん』が田村PJの実習先であることを知って、さっそく2回生から履修しました。

※2 学内外における様々なボランティア活動の振興を図ることを目的とした本学学内機関

―田村PJでは、それぞれどのような活動をしていましたか。

(中村さん) 子どもやジェンダーに関する講演会に何度も参加しました。毎回新しい知識をたくさん吸収でき、それが今でも役に立っています。『かんちゃん』では学生スタッフとして実際に子どもたちと関わり、講演会で学んだ知識と現場でのリアルとを結びつけられたことが、よい経験となりました。

(奥村さん) 正直に言うと、私は座学にはあまり興味を持ってなかったのですが、『かんちゃん』の活動はとても楽しくて毎回参加していました。そのうちスタッフミーティングに呼んでいただけるようになって。運営や企画に関わる課題を主催者の方と一緒に考えるという経験が、私の中で大きな糧となっています。今でも主催者の方から毎回お声が掛かるので、信頼関係が築けているように感じてとても嬉しいです。

―『かんちゃん』での活動について、詳しく教えてください。

(中村さん) 私たちは学生スタッフとして、ワークショップやイベントの際に子どもたちのリーダーとなり全体をまとめる役割を担っています。

(奥村さん) 地域には外国籍の子どもさんも多く住んでおられます。『かんちゃん』は多文化共生の場でもあって、各国の文化についてお話を聞いたり、郷土料理をみんなで食べたりするイベントを定期的におこなうことで、様々な国籍の人たち同士の交流を図っています。

(中村さん) 子どもさんだけではなく、ご年配の方もたくさん参加されています。沖縄民謡などのイベントは特に人気がありますね。

―実習を振り返って、印象的だったことはありますか。

(中村さん) 子どもやジェンダー、教育に関する知識が増えたことで、そういう類のニュースに触れたとき、以前と比べてぐんと理解度が深まったのを感じています。そうそう、実習がきっかけで卒業論文のテーマも決まりました！教育とジェンダーに焦点を当てて、執筆中です。



(奥村さん) 『かんちゃん』に参加している子どもさんの成長を見守る喜びがあります。はじめは一人で遊んでいた子が、何度か参加するうちにみんなの輪の中に入れるようになりましたね。今では私に悩みを打ち明けてくれる子がいたり、それに応えてあげることができたりと、子どもさんとの関係も築けているように感じます。

―今後はどのような進路を考えていますか。

(中村さん) 某社(福祉業界大手企業)の総合職に内定をいただきました。採用面接では、実習で参加した講演会のことや、『かんちゃん』のことなど、たくさんの経験があったので話す内容には困りませんでした。配属先は未定ですが、教育・保育分野志望であると伝えていきます。



(奥村さん) 子ども食堂などに関わりたと思っていますが、本職にするかは悩んでいます。『かんちゃん』のような現場での活動が本当に楽しいのですが、働くとなるとどうすればよいのかわからなくて。もう一度、社会共生実習をやってみようかなあなんて(笑)。

(中村さん) (奥村さんに向けて) 私も以前はやりたいことがなかったけれど、この実習をきっかけに福祉業界で働こうと決めたよ。自分が取り組んできたことを生かして就職活動を進めると、きっとうまくいくと思うよ！

―最後に、後輩へのメッセージをお願いします！

(中村さん) (田村PJの受講生へ) 田村先生は、学生の声にしっかり応えてくださいます。気負わずに楽しんで活動してくださいね。

(奥村さん) 単位取得のためだけではなく、自分の成長のために実習に取り組んでください。主体性をもって臨めば、どんどん世界が広がります。

実習で得た知識やスキルを生かして、次のステップへと歩みを進めている様子をうかがうことができました。中村さん、奥村さん、ありがとうございました！

SCHEDULE 今後の主なイベント

◆12月28日(土)

特産品アイデア
お披露目会
(坂本プロジェクト)

◆2020年
1月10日(金)

社会共生実習
活動報告会

◆2020年
1月19日(日)

大津エンパワねっと
後期報告会
(エンパワ)

詳細は各SNSでお知らせします！

Webサイト・SNSでは最新の情報を随時更新中♪



社会共生実習
Webサイト



社会共生実習
Twitter



社会共生実習
Instagram



社会共生実習
Facebook



エンパワ
Twitter



古荘プロジェクト+α
Facebook



古荘プロジェクト
Instagram



坂本プロジェクト+α
Facebook